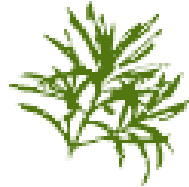


Kaikoukai
Rehabilitation
Hospital

『偕行会リハビリテーション NEWS』

vol. 59



【発行】

偕行会リハビリテーション病院

医療相談課

〒490-1405 弥富市神戸5丁目20番

TEL 0567-52-3883 FAX 0567-52-3885



新年明けましておめでとうございます

スタッフ一丸となって頑張ります

今年もどうぞ宜しくお願いいたします。



リハビリテーション病院行事あれこれ

- 10月
- 10/4 押富さん講演会[インクルージョン・エクスクルージョン]
- 10/6 秋祭り
- 10/3 避難訓練 (津波想定)
- 11月
- 11/16 公開健康講座
「始めよう!転倒予防～転ばない身体をつくろう～」
- 11/19 道免先生勉強会
- 12月
- 12/5 作業療法園芸
- 12/21 クリスマス会



秋祭り

今年は夏祭りを秋祭りに変更し
10/4に開催しました。
入院中の厳しいリハビリ
少しだけ忘れてご家族と一緒に
楽しませていました
どんどこ Club さんの太鼓と
手作りの御神輿、
大盛況で終わりました



屋台やゲームで
お祭りの雰囲気
を味わいました

公開健康講座「始めよう！転倒予防～転ばない体を作ろう～」

域住民の方々にすぐに役立つ公開健康講座を行いました。

70名近くの地域の皆さまに参加頂き、

握力、片足立ち、歩幅などの身体チェックや川瀬課長による楽しい講義&筋トレを行いました。



クリスマスミニコンサート

「 Y・M・C・A～(♪) 」

田丸院長からの歌のクリスマスプレゼント

お昼時に生演奏



病棟にも突撃訪問



田丸院長 & 歌のお姉さん

保育所の子どもたちはサンタさんに目が釘づけ！！

ちょっと知っと思った？



トロミ付自動販売機

1 F 食堂前にカップの自動販売機を新しく 10 月から設置しています
トロミ付の飲み物が作れる優れものです

脳梗塞等により嚥下障害がある方で水分にトロミをつけている患者様も多いです
ゼリー状の水分ゼリーやお茶ゼリーもいいですが、

「たまにはコーヒーも飲みたいなあ・・・」なんてことがありますよね
それが自動販売機で買えちゃいます。一度お試しあれ～！！



澤島主任すごい
今回 2 回目の受賞だよ
尊敬しちゃうね♡



受賞おめでとう！！

論文誌『理学療法学』にて第 10 回学術誌優秀論文 優秀賞を受賞しました

当院、理学療法士の澤島佑規主任が執筆した論文

「被殻出血患者における各脳領域の損傷度による歩行自立度の予後予測」
が優秀賞を受賞いたしましたので、ご報告させていただきます。



【受賞者コメント】

多くの方々の支えもあり、このような賞を受賞することができました。
これからも病院、そして社会に貢献できる研究発表が行えるよう
精進して参りたいと思います。



透析センターより



ACP（アドバンスケアプランニング）を知っていますか？

さまざまな高度医療が汎用される一方、価値観が多様化している現代、個別性を重視した医療・ケアの提供に関する社会的要求は増えています。また、インターネットなど通信技術の急速な進展によって医療情報を含め様々な情報が氾濫するなか、医療・ケアチームによる適切な意思決定支援の重要性も一層増えています。この課題に対応するため、人生の最終段階に至るまで一人ひとりを尊重しつつ医療・ケアの意思決定を支援する具体的な方途として ACP が注目されています。ACP はリビング・ウィルなど事前指示の不足を補いつつ発展してきました。本人の意向に沿った、本人らしい人生の最終段階における医療・ケアを実現し、本人が最期まで尊厳をもって人生をまっとうすることができるよう支援することを目標としています。

ACP の対象と ACP を開始する時期

ACP の主体は医療・ケアを受けるすべての人である。人生の最終段階を見据えがんか非がん疾患かを問わず、通院あるいは入院にて医療を受けている本人はその医療機関において ACP を開始することが望ましいとしている。また、医療を受けていない高齢者においても、要介護認定を受ける頃までには ACP を開始することが望ましい。すでに介護施設に入所している高齢者においては、その施設において直ちに ACP を開始すべきである。すでに意思表示が困難な状態になっている場合であっても ACP の開始を考慮すべきである。近い将来には要介護の段階や健康段階を問わず、できるだけ早めに、可能な場合は壮年期から ACP を開始することが推奨される。疾患や障害によっては小児期や青年期から行う場合もある。

ACP の実践者

実践者は、本人、家族など、そして本人に関わる多職種の医療・ケア従事者

ACP を実践するためにどうすればよいか？

まずは家族で人生について話し合いの場をもつとよいでしょう。自分の意思を家族に理解してもらう、家族の意思を確認するなどから始めてもよいと思います。まだ早いということはありません。人生の最期自分や家族がどのように過ごしたいかを事前に話し合うことで納得ができる最期を迎えることができます。一度決めたことの変更も可能です。記録として残してみてもよいと考えます。



HD 今田

10年勤務勤続者表彰される



2008/9～2009/8 までに入職された職員の方で
今年 は 10 人が表彰されました。

看護師(1名) 看護助手(3名)
理学療法士 (1名) 作業療法士 (2名) 言語聴覚士 (1名)
薬剤師 (1名) 臨床工学技士(1名)

代表で言語聴覚士の平野さんに田丸院長より
記念品の目録が手渡されました。



編集後記

毎年「1年すぎるの早いね～」と口をそろえて言っておりますが、ほんとに早いです。時間は全ての人に平等なのに……。2020年今年はいよいよ東京オリンピックが開催されます。代表選手の方々には日本代表として胸を張って頑張りたいです。ですが、そこまでの道のりは本当に大変だったと思います。血と汗と涙と絶え間ない努力。一日も休まず練習を続けた結果なのでしょう。病気や怪我でお体が不自由になり当院のリハビリを受けている患者様も同じです。毎日、毎日リハビリを続けておられます。だから、成果がでうれしいのです。一生懸命に取り組む姿にスタッフもエールを送り出来た喜びに感動するのです。みんなで応援しましょう。オリンピックの選手もリハビリ頑張っている患者様にも……。

文責 Y.K

【私たちの基本理念】

- 1、患者のための医療を目指します。
- 2、他の医療機関と連携して、地域医療の発展を目指します。
- 3、教育・研究を重視し、職員の自己研鑽に努めます。

医療法人偕行会

偕行会リハビリテーション病院

〒490-1405 弥富市神戸5丁目20番地

TEL 0567-52-3883 (代表)

FAX 0567-52-3885

URL <https://www.kaikou.or.jp/riha/>

F B <http://www.facebook.com/riha.kaikou>

